

第 39 回定時株主総会 株主さまからいただいたご質問

第 39 回定時株主総会において、株主の皆さまから事前にいただいたご質問、及び当日にいただいたご質問についてご回答させていただきましたので、その要旨を掲載いたします。なお、事前のご質問については、本総会の議案に関わる内容及び、ご関心が高いと思われるご質問についてご回答しております。

事前のご質問

Q：低迷している株価をどうやって回復させるのですか。また、回復させるための業績回復という視点から、新規加入者の増加、契約継続のための施策についてはどのように考えていますか。

A：株主の皆さまにはご心配をおかけして申し訳ありません。

株価低迷即ち業績低下の要因は、動画配信サービスの台頭によるコンテンツ獲得及び会員獲得競争の激化、動画配信業界の事業連携の活発化、ユーザーニーズの変化が加速していることと捉えております。

動画配信サービスの台頭は有料放送の事業構造を根底から揺るがしています。放送ではなくネットで、見たいときに見たいものを選んで視聴するスタイルがコロナ禍で定着しました。コンテンツ獲得競争は更に激しくなっており、低価格競争の消耗戦が続いています。当社も、お客さまのニーズの変化にこたえるべく、早くから WOWOW オンデマンド（以下、WOD）強化に取り組んで来ましたが、残念ながら相対的に競争力が低下していることは事実です。

株価上昇、企業価値向上のためには、何をおいても業績を回復させなければなりません。そのため戦略方針と施策は、「メディア・サービスの事業基盤復活」については、第一にコンテンツの独自価値の追求、第二に WOD のサービス強化と会員 ID を基盤としたお客さまとのコミュニケーションの最適化など、マーケティング改革です。これらにより会員数の純減から純増への転換を目指してまいります。

そして、「収益拡大への取り組み」については、約 255 万件のお客さまをベースにした新たなサービスの開発、及び子会社の事業を含めたグループ全体での新たな収益の拡大に取り組めます。

以上の取り組みを通じて企業価値向上に努めてまいります。どうぞご理解を賜りたいと思います。

Q：自己株式取得、株主優待の拡大はどのように考えているのですか。

A：今年 2 月に自己株式を取得しましたが、今後については、現時点で決まっていることはありませんが、投資戦略、会社の状況等を踏まえて、総合的に判断してまいります。

また、当社の株主優待のひとつである、視聴優待は、サービスの理解促進を目的としております。その他の優待を含めまして、現状、目的に相当な内容と判断しております。

どうぞご理解ください。

Q：配当についての考えを教えてください。

A：「減配は株主軽視である。人件費の削減を期待する。」など厳しいご意見をいただきました。

当社の配当に関して、「各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案して、内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定的な配当を目指す」という基本方針は変わりありません。

しかしながら、流動的な競争環境の中で、当社がイニシアチブを発揮し、会員ビジネスを再び成長軌道に乗せ、同時に新たな収益源を開発するためには戦略的投資が必要です。コンテンツ投資、オンデマンドサービスへの投資、事業開発投資などを積極的に行なっていく計画です。

その考え方のもと、今期は、収支計画と配当性向などを勘案して、1 株当たり年間配当を 30 円と、減配を想定いたしました。但し今後、安定的に配当を実施していく方針には変わりありません。

それと同時に、筋肉質な経営体質の構築に向けて、削るべきところは削り、費用の効率化に継続的に取り組んでまいります。どうぞ株主さまに置かれましてはご理解を賜りたいと存じます。

Q：競合が多数存在する中で差別化を図る具体的な施策はありますか。

A：基本的にコンテンツによる差別化が重要な施策となります。

第 1 に、WOWOW でしか見られない、スポーツや音楽ライブの独占放送・配信に注力しています。

第 2 に、ドラマ W に代表されるオリジナルコンテンツの制作です。質の高いドラマは WOWOW の看板に育っています。

第 3 に、提供するジャンルの多様さと、こだわりのキュレーション力です。コンテンツがあふれる中で、質の高いコンテンツを、世界中から選び抜いて提供していることです。

第 4 に、放送と配信の両方で楽しんでいただけることです。テレビの大画面・高画質でも、スマホやタブレットでも、お客さまに合わせて楽しんでいただけることです。

WOWOW

さらに、差別化を図るため、LPGA 女子ゴルフツアーでは、放送では国際映像を、配信では日本人選手専用カメラの映像を流すなどの独自サービスを展開しております。

もう1点、放送・配信サービス以外に、参加・体験するコンテンツの提供にも取り組んでいます。例えば、東方神起にとって史上初となるリハーサル観覧にお客さまを招待した他、LPGA のメジャー大会「エビアン チャンピオンシップ」に、解説者と行くツアーを実施するなどの取り組みを行っております。視聴以外の体験価値を提供することで、お客さまとのエンゲージメントを高めてまいります。

Q：今回の株主総会では、初めて女性が取締役候補者となっておりますが、今後も女性取締役は増えますか。また、株式を保有していない取締役候補者がいますが、株主との価値共有という考えで疑問があります。

A：当社はエンターテインメント企業であり、老若男女、多様なお客さまに楽しんでいただくことを目指しております。その観点から経営における女性の視点は、大変重要です。今後も取締役会の多様性について、スキル、職歴・知見・経験のバランスを考慮しながら、積極的に選定してまいりたいと考えております。

また、取締役の株式保有に関しては、2020年から、監査等委員を除く常勤取締役の報酬に、譲渡制限付株式制度を導入しておりますので、対象の取締役は当社株式を保有しております。

なお、社外取締役候補者は当社株式の保有の観点ではなく、経営者としての資質があるかどうかで選出しております。ご理解をいただければと思います。

その他：事前にいただいたご意見

- ・WOWOW のドラマは大変レベルが高く楽しみにしています。
- ・コールセンターの対応を改善してほしい。
- ・スペインサッカー ラ・リーガの終了が納得できない。

などのご意見をいただきました。

コールセンターの対応にお叱りをいただいたことは、非常に重要な課題と認識をしております。今後改善に努めてまいります。

スペインサッカー ラ・リーガの終了につきまして、まずもって長い間ご愛顧をいただいた株主さま、会員の皆さまに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。ただし、個別コンテンツの取捨選択につきましては、総合的に判断しておりますので、ご理解をいただきたく存じます。

当日のご質問

Q：2020年12月に発表された、北方謙三氏の水滸伝のドラマ化プロジェクトについて、現時点で続報がなく、進捗がどうなっているのかというのを知りたい。また、2021年2月13日の日経MJの記事では、社長がインタビューの中で、「水滸伝ドラマ化プロジェクト等について、コミュニティをインターネット上で開催し、ファンと一緒に最高のドラマをつくるのがゴールだ」と語っていたが、そのコミュニティは現在どのようになっているのか知りたい。

A：水滸伝のドラマ化については、2020年12月に発表をいたしました。制作過程で中国ロケが必要でした。ご存知のように新型コロナウイルス感染症の拡大により、キャストやスタッフが中国に行けない状況が続いておりましたので、一度スケジュール全体の見直しを行ないました。

水滸伝につきましては、現在脚本家が内定しまして、キャスティングも進んでおります。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことにより、中国で撮影する選択肢もありますが、流動的な状況であるため、実際、中国までキャストやスタッフが行かなくても撮影をするノウハウの研究も進めております。

何れにしましても、改めてスケジュール等の発表をさせていただきますが、その際には改めてファン・コミュニティにつきましても、お知らせいたします。

Q：テニス中継を非常に楽しみにしています。私の記憶の中になります。女性の試合中継がほとんどなかったような気がしています。過去に大坂なおみ選手が非常に台頭し、チャンピオンシップにチャレンジしているような時に、中継がほとんどなかったような気がしています。その理由を教えてください。

A：大坂なおみ選手は活躍が期待されておりますので、基本的にすべての試合を、放送・配信しております。

また、大坂なおみ選手に限らず、グランドスラムは多く試合数があり、男子の試合、女子の試合を放送では1試合しか放送できませんが、他のコートにつきましては、WOWOW オンデマンドでライブ配信しております。これにより、ほぼすべての試合をカバーできるようになっておりますので、今後もお楽しみいただければと思います。

なお、一部の国内大会を除き女子の下部ツアーについては放送・配信権を保有しておらず、試合をお届けすることができておりません。

以上